



生活支援コーディネーター 本田の支え合い活動レポート vol.19

合言葉は

“おたがいさま”

溝口福祉センターで7月15日(水)、伯耆ふれあいサロンが開催されました。伯耆ふれあいサロンとは、伯耆町老人クラブ連合会の若手委員の発案で始められた老人クラブが主催する集いの場です。

第1回目この日は、会員さんの希望で「100歳体操」の体験がありました。自分に合った負荷(重り)を付けて運動を続けることで筋力をつけ、動くことが楽になったり、転びにくい体になったりするそうです。

このサロンは心と体の健康維持を目的に、参加者がやってみたくて取り入れながら、楽しくイキイキとした集いの場にしていきたいとのこと。

開催日は、毎月第3水曜日の9時30分から12時までで、時間中は出入り自由です。会場は岸本保健福祉

センターと溝口福祉センターで交互に開かれ、次回は9月16日(水)、会場は溝口福祉センターです。町内の60歳以上の方ならどなたでも参加できるということですので、コロナ禍で今までのような活動ができず、人との交流の機会が少なくなっている方など、感染予防に努めながら情報交換もできる交流の場として、気軽に参加してみたいでしょうか。合言葉はおたがいさまです。



DVDを見ながら「100歳体操」体験中

本田 典子

問い合わせ先

健康対策課 生活相談室 TEL: 0859-68-5535

ほうきてごネットだより



野上川の自然—ホタルの生態—を学ぶ

二部小学校5年生は、総合的な学習の時間に「野上川の自然」について学んでいます。野上川の源流は矢倉峠の辺りで、支流の間賀川には「間賀の滝」があります。同じく野上川の支流である間地川と藤屋川には、オオサンショウウオが生息しています。また野上川にはホタルも数多く見られます。

今回はホタルについてより詳しく学習するため、日野町公民館長の神庭賢一さんをゲストティーチャーに迎えました。

神庭さんから、ホタルは北海道から沖縄まで日本全土に生息していることや、ホタルの生息条件として①木陰があること ②水際にコケが生えていること ③流れがありカワニナが豊富に生息していること ④中州や岸があることなどが必要であることを教わりました。

また、神庭さんは二部小学校の校章のモチーフがホタルであり、校歌の歌詞にもホタルが入っていること大変興味を持たれていました。

今回の学習をきっかけに、ぜひ児童に野上川で実物のホタルを観察してほしいと思います。



▲ホタルの生態について語る神庭賢一さん

問い合わせ先

二部小学校 TEL: 0859-62-7103

伯耆町人権啓発講座

ひまわりセミナー

今回のテーマは

新型コロナウイルスで変わる生活様式と変えていく人権意識

新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、今回のひまわりセミナーはケーブルテレビ放送講座として放送します。DVDにして貸出しも行う予定です。

チャンネル 伯耆町有線テレビジョン放送 (113ch)

放送日 9月26日(土) 17:30から
※2時間サイクルで放送(計11回)

テーマ 「新型コロナウイルスで変わる生活様式と変えていく人権意識」

出演者など

ダイアログ(対談形式)

対談 山田 晋氏(西部地区社会教育主事OB会)

紙本美菜子氏(鳥大医学部地域医療学講座)

司会 下前 博司氏(鳥取県教育委員会西部教育局)

問い合わせ先

伯耆町教育委員会事務局 人権政策室
TEL: 0859-62-0713